

令和2年度

事業報告書

I 令和2年度事業実績概要

少子高齢・人口減少社会の進行に伴い、地域の相互扶助機能が低下している中で、地域における福祉課題が複雑多様化し、これらの課題を抱える世帯が顕著になってきました。国においては、地域住民が互いに支えあいながら地域を共につくる「地域共生社会」の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、市区町村において、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施する事業の取り組みの準備が進められています。

このような社会情勢や国の動向を踏まえ、長年、地域福祉活動を通して様々な地域課題解決の支援に取り組んできた社協に対する役割がなお一層大きくなり、今後の活動のあり方が真に問われております。

当会としては、「市民誰もが安心して暮らせる健康でぬくもりに満ちた福祉コミュニティの創造」の実現に向けて、7つの重点項目を掲げ、行政をはじめ、町内会、民生委員・児童委員、社会福祉関係機関・団体などと連携を図り、地域福祉の向上に努めてまいりました。しかしながら、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染拡大を防ぎ人命を守るため、これまで進めてきた地域福祉活動等の中止や縮小などせざるを得ない状況にありました。

このような状況下の中で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、鹿児島県社協が実施する特例貸付の相談窓口を設け、申込者やその家族の心に寄り添いながら、相談対応に努めてまいりました。

また、令和2年7月3日以降に、九州地方を中心に記録的な大雨となり、本市においても土砂崩れなどの災害が各地で発生したことに伴い、鹿屋市と大隅災害復旧ボランティアと連携し、7月11日にボランティアセンターを古江地区に開所し、7月26日閉所されるまで、多くの災害ボランティアなどのご協力により市内6地区で被災地支援活動に積極的に取り組んで参りました。

また、平成12年の介護保険制度施行から20年を迎え、多くの民間事業者が介護事業に参入される中、当会が果たすべき介護保険事業の役割とは何かを基本に、実務者間等で議論を重ねて参りました。その結果、「鹿屋市社協における介護保険事業の見直し方針」を決定し、2年後（令和5年度）、新たな実施体制に向けて準備を進めることとしました。

《 重点項目 》

- 1 社会福祉協議会の事業・組織・財政の基盤強化
- 2 地域福祉活動の推進（地域力強化推進事業・多機関協働による包括的支援体制構築事業の推進）
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進
- 4 広報啓発活動等の充実
- 5 指定管理施設「市民交流センター福祉プラザ、輝北ふれあいセンター」の適正な管理運営
- 6 在宅福祉サービス事業の充実と効率的な運営
- 7 障がい者基幹相談支援センターの支援事業の充実

Ⅱ 事業実績

総務課所管

1 会務の運営及び連携・協調

(1) 本会の円滑な運営と事業の推進を図るため、次の役員会等を開催した。

① 理事会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 6月2日(火)	理事 10人 監事 3人 計 13人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告 ・令和元年度会計収支決算 ・経理規程の一部改正 ・理事候補者の推薦 ・評議員候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・定時評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度における会長の職務執行状況
第2回 11月13日(金)	理事 12人 監事 2人 計 14人	【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・専決処分 令和2年度会計補正予算(第1号・第2号) ・緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の実施 ・令和2年7月豪雨災害に伴うボランティアセンターの設置及び活動報告 【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・経理規程の一部改正 ・令和2年度会計補正予算(第3号) ・第2回評議員会の招集 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業の現状(報告)
第3回 3月16日(火)	理事 10人 監事 2人 計 12人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度会計補正予算(第4号) ・鹿屋市社協における介護保険事業の見直し方針 ・令和3年度事業計画 ・事務局規程の一部改正 ・事務処理規程の一部改正 ・公印管理規程の一部改正 ・職員就業規則の一部改正 ・職員給与規程の一部改正 ・職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正 ・嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正

		<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正 ・居宅介護等事業，居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正 ・居宅介護等事業，居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正 ・令和3年度会計収支予算 ・第3回評議員会の招集 <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長の職務執行状況(令和2年4月以降)
--	--	---

② 評議員会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 (定時評議員会) 6月26日(金)	評議員 21人 監事 1人 計 22人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告 ・令和元年度会計収支決算 ・理事の選任
第2回 11月24日(火)	評議員 19人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度会計補正予算(第3号) 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の実績 ・令和2年7月豪雨災害に伴うボランティアセンターの設置及び活動報告 ・介護保険事業の現状
第3回 3月24日(水)	評議員 18人	【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度会計補正予算(第4号) ・鹿屋市社協における介護保険事業の見直し方針 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度会計収支予算

③ 正副会長会の開催 (4回)

開催日	出席者数	審議事項
第1回 5月27日(水)	3人	・第1回理事会及び定時評議員会上程議案
第2回 6月26日(金)	3人	・正規職員の新規採用等
第3回 11月6日(金)	3人	・第2回理事会及び第2回評議員会上程議案
第4回 3月5日(金)	3人	・第3回理事会及び第3回評議員会上程議案

④ 監査の実施 (1回)

開催日	出席者数	監査事項
5月15日(金)	3人	・令和元年度業務執行の状況及び会計収支決算等

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催 (1回)

開催日	出席者数	審議事項
6月5日(金)	5人	・評議員(1人)の選任

- (2) 適正かつ効率的な組織運営と事務事業の見直しに努めた。
- ① 定款・規程の適正な管理
 - ア 規則・規程の改正 2規則・9規程
 - ② 既存の事務事業の見直し
 - ア 事務事業検証作業（各課・支所）の実施〔10月1日(木)～1月15日(金)〕
 - ③ 事業・組織・財務等の基盤強化
 - ア **【新規】給与事務代行等業務の委託契約の締結**〔8月1日～ 税理士法人 風呂井会計〕
 - イ **【新規】電力受給に伴う大規模契約割引特約契約の締結**〔11月1日～ 九州電力 株式会社〕
 - ウ **【新規】広告掲載事業の実施**（社協だより第49号・第50号・第51号に有料の広告掲載）
 - エ 令和3年度収支予算に係るヒアリングの実施〔10月1日(木)～1月15日(金)〕
 - ④ 職員人事と処遇管理(適正且つ効果的な人員配置, 労務, 給与, 福利厚生, 辞令他)
 - ⑤ 正規職員の採用試験の実施
 - ア 受験申込者数 21人(男性10人, 女性11人)
 - イ 職員採用人数 2人(男性1人, 女性1人) ※令和3年4月1日付け採用
 - ウ 採用候補者選考委員会の開催〔第1回:10月6日(火), 第2回:11月2日(月), 第3回:11月29日(日)〕
 - エ 採用試験の実施〔第1次試験:10月18日(日), 第2次試験:11月29日(日)〕
 - ⑥ 財務会計等の運営・管理
 - ア 社会福祉法人会計基準に基づく適正な会計処理(予算, 決算, 経理事務等)
 - イ 財産の適正な管理(基本財産, 固定資産物品, 基金等)
 - ウ 内部会計監査の実施〔11月27日(金)〕
 - ⑦ 個人情報(マイナンバー等)の適正な管理
 - ⑧ 法人全体の庶務
 - ⑨ 職員の健康管理, 衛生管理
 - ア 衛生委員会の開催(12回)
 - イ 産業医による職場巡視及び健康指導の実施(10回)
 - ウ 職員定期健康診断, ストレスチェックの実施
 - エ **【新規】新型コロナウイルス感染予防対策の実施**
- (3) 関係機関・団体等との連携・協調に努めた。
- ① 行政との連携・協調
 - ② 住民自治組織との連携・協調
 - ③ 関係諸機関及び団体, 社会福祉法人等との連携・協調
 - ④ 県社協, 九社連, 全社協との連携

2 会員制度の周知と加入促進

当会会員制度について, 社協だよりへの掲載等により, 市民等に周知と加入促進に努めた。

区分	会費額	加入者数		会費納入額	対前年度比
			昨年度		
一般会費	1世帯 300円	19,418世帯	19,383世帯	5,825,550円	10,540円
団体会費	1口 3,000円	28団体(63口)	50団体(86口)	189,000円	△69,000円
特別会費	1口 10,000円	49会員(51口)	68会員(80口)	510,000円	△290,000円
合 計				6,524,550円	△348,460円

3 広報活動等の推進

当会の事業や活動について、市民等に対して広く理解と関心を深めていただくため、次の広報活動や情報提供に努めた。

(1) 社協だよりの発行による広報（4回）

号数	発行日	発行部数	備考
第48号	4月28日発行	42,000部	町内会全戸等に配布(A4, 12頁, カラー)
第49号	7月13日発行	42,000部	
第50号	10月28日発行	42,000部	
第51号	1月13日発行	42,000部	

(2) 各支所広報誌の発行による広報（2回）

区分	広報誌の名称	発行月／発行部数
吾平支所	吾平福祉ふれあい便り	令和3年3月発行 吾平地域町内会 2,531世帯に配布
串良支所	【新規】かのや社協だより「串良版」	令和3年2月発行 串良地域町内会 4,124世帯に配布

(3) 当会ホームページによる広報や情報提供（随時）

区分	実績（前年度対比）
掲載件数	52件（45件の減）
改正件数	3件（4件の減）
閲覧件数	33,465件（7,065件の増）

(4) イベントの実施による広報（1回）社協活動紹介用パネル展示等

イベント名／展示期間	展示内容／場所
健康・福祉に関するパネル展 2月12日(金)～2月19日(金)	社協活動紹介用パネルの展示等 リナシティかのや福祉プラザ，市役所ロビー他

(5) その他

本所・本所分室及び各支所の施設内ロビー等に当会事業及び活動等のパネル展示（常設）

4 社会福祉功労者・団体の表彰

当会表彰規程に基づき、多額の寄附のあった個人及び団体に対して感謝状の贈呈を行った。

贈呈先	個人	1人	大口寄附者（贈呈日：2月28日）
	団体	1法人	社会福祉法人 友心会 障害者支援施設 ゆらり（贈呈日：3月19日）
		1企業	鹿児島相互信用金庫（贈呈日：2月25日贈呈）

5 指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うと共に、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、サービスの質の向上と運営の効率化に留意し、適切な運営管理に努めた。

(1) 鹿屋市市民交流センター福祉プラザの管理運営

① 利用実績等

利用件数	4,175件（対前年度比：1,162件の増）
利用者人数	22,070人（対前年度比：12,475人の減）

事故・苦情件数	事故件数：0件（対前年度比：1件の減）
	苦情件数：0件（対前年度比：3件の減）

② 福祉プラザ利用団体の登録，連絡会の開催等

ア 福祉プラザ利用登録団体の登録（令和3年3月31日現在）

登録団体数	61団体〔内，新規登録団体数：3団体〕（対前年度比：3団体の減）
-------	----------------------------------

イ 福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内 容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方 法	令和3年2月4日に，登録団体へ調査票を郵送
件数（調査）	67団体（令和3年2月3日現在の登録団体数）
件数（回答）	64団体（回答率 95%）
結 果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する：58団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する：6団体

※福祉プラザ利用登録団体連絡会は，新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

③ 高齢者入浴サービス事業の実施

日 時	毎週月曜日から金曜日まで（祝日，年末年始を除く）10:00～15:00	
場 所	リナシティかのや（2階）福祉プラザ内男女浴室	
対 象 者	65歳以上の市民，又は高齢者クラブ加入者	
実 施 日 数	228日	※休館による入浴サービスの中止（14日間） （内訳）緊急事態宣言10日間，台風10号接近1日間，ボイラー故障3日間
延べ利用者数	3,199人（対前年度比：679人の減）	
1日の平均利用者数	14人（対前年度比：2.7人の減）	
そ の 他	看護師を配置して健康確認（血圧測定等）や相談，利用者の安全確認等	

④ 福祉プラザ通信の発行及び配布

発行回数	12回（第147号～第158号）
発行内容	社協実施事業（ファミリーサポートセンター，心配ごと相談，つどいの広場りな等），高齢者入浴サービスの案内，福祉ロビー展示の紹介 他
発行部数	毎月約5,000部発行（町内会へ回覧，公共施設等へ配布）

(2) 鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① 利用者数 25,944人（利用者内訳は下記のとおり）

区 分	年間利用者数(対前年度比)	区 分	年間利用者数(対前年度比)
社協関係	3,133人(958人の減)	温泉公衆浴場	18,686人(2,249人の増)
福祉団体	113人(286人の減)	やすらぎサロン	2,621人(403人の減)
福祉協力団体	163人(39人の減)	その他(一般)	985人(432人の増)
鹿屋市関係	243人(414人の減)	合 計	25,944人(581人の増)

② 温泉入浴サービス事業の実施（温泉公衆浴場利用実績）※（ ）は前年度対比

営業日数及び時間	310日（4～10月）9:00～20:00，（11～3月）9:00～19:00					
利用実績	大人	男	7,974人(1,038人の増)	大人	男	22人(18人の減)
		女	10,274人(1,250人の増)		女	162人(34人の減)
	子供	男	122人(±0)	合 計	18,686人	
		女	132人(13人の増)		(2,249人の増)	
1日平均利用者数	60人（5人の減）					

③ 輝北ふれあいセンター運営協議会の開催（2回）

日 時	【第1回】令和2年7月27日（月）13：30～14：40
	【第2回】令和3年3月11日（木）10：30～11：30
場 所	輝北ふれあいセンター 会議室
協議内容	【第1回】輝北ふれあいセンターの活性化策等
	【第2回】今後の各事業の取り組みについて（活性化策等）
出席者数	【第1回】委員6人，【第2回】委員6人

④ きほくやすらぎ食堂，きほくやすらぎ市場の営業

区 分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
内 容	食事(昼食)の提供	地元農産物等の販売
営業日数	33日（毎週：1回）	100日（毎週：3回）
利用者数	1,164人	1,327人
売 上 金	532,630円	744,995円
委 託 先	あじさい(輝北地域住民有志のグループ)	NPO法人 輝北キラキラ館

⑤ 【新規】輝北ふれあいセンター館内でのビデオ映画上映（漫談）

期 間	対象者（サロンの利用者）	備 考
第1回（11月25日）	4班（18名）	
第2回（11月26日）	1班（16名）	
第3回（11月27日）	3班（17名）	
第4回（11月30日）	2班（13名）	あじさいグループ（4名）

⑥ その他

ア 子育てサロン「てるぽっく」に対する活動支援（12回）

イ 高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進（随時）

ウ 輝北ふれあいセンター多目的広場の利用促進（高齢者クラブ・GG協会）等

※輝北ふれあいセンター杯グラウンドゴルフ大会は，新型コロナウイルス感染症
拡散により開催中止

6 役職員等の研修

役員等研修会，職員研修会の実施や県内で開催された各種研修会，講座，会議等に参加し，職員の資質と専門性の向上に努めた。

(1) 役員等研修会に参加 ※県社協・市主催の監事等研修

実施回数	2回	延べ出席者数	2人
------	----	--------	----

(2) 職員研修会の実施

実施回数	1回	出席者数	16人
------	----	------	-----

(3) 県社協等が主催する研修会等に参加

研修回数	84回	延べ参加人数	122人
------	-----	--------	------

(4) 社協内部研修会（職員会議）の実施

研修回数	4回	延べ参加人数	60人
------	----	--------	-----

7 福祉人材等の育成

看護師を目指す学生に、人材育成の一環として、次の実習の場を提供した。

学 校 名	人 数	内 容	実 習 期 間
鹿屋看護専門学校（2年生）	30人	老年看護学実習	1月18日～2月26日（24日間）

8 鹿屋市民生委員児童委員協議会事務局業務の受託

同協議会より事務局業務を受託し、次の業務を行った。

(1) 会務の運営

- ① 役員会（11回）、会長会（8回）、会長・副会長会（1回）、監査（1回）の開催

※総会は、新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

- ② 会計、庶務、表彰等

(2) 研修会等の実施及び参加

- ① 鹿屋市民生委員児童委員研修会の実施（1回、203名）

- ② 鹿児島県民生委員児童委員協議会主催研修会等に参加（5回、延べ46人）

(3) 関係機関・団体等との連絡調整

9 その他

地域における公益的な取り組み（各種講習会）の実施については、新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

地域福祉課所管

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業

① 地域力強化推進事業

2名の地域福祉コーディネーターを配置し、すべての人々が共に助け合い、生きがいをもって暮らし、地域を作っていく「地域共生社会」の実現を目指して、以下の活動に取り組んだ。

ア 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境整備

(ア) 「地域福祉協議会」の整備

町内会等の区域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決活動に取り組むための協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援し、地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

【既存の地域福祉協議会の取り組み】

	地 区	設立日	取り組み内容
1	高 牧	平成31年4月1日	地域福祉協議会定例会(6月3日) ①見守り対象者の組み合わせ ②地域福祉についての学び 地域福祉協議会定例会(11月25日) ①見守り活動の進捗確認 ②地域課題について聞き取り ③地域福祉についての学び 独居高齢者見守り活動の開始(6月～)
2	鶴 羽	平成31年4月1日	地域福祉協議会定例会(11月10日) ①地域福祉協議会の概要(振り返り) ②他市の支え合い活動(動画視聴) ③地域課題について聞き取り 地域福祉協議会定例会(12月15日) ①前回の振り返り ②アンケート調査結果公表 ③支え合いマップづくりについて
3	古前城	令和元年6月1日	地域福祉協議会定例会(1月24日) ①地域福祉についての学び 安心安全ネットワークセミナー参加(1月26日)
4	海 道	令和元年7月1日	かごしまシニア人材育成活用事業参加(11月16日～18日)
5	花 里	令和元年7月1日	独居高齢者見守り活動の開始(4月～) 高齢者サロンで救急医療情報キット説明・配付(6月20日)
6	小 薄	令和元年8月1日	地域福祉協議会定例会(6月11日) ①地域課題について聞き取り ②見守り活動の説明 町内会長等とサロン活動について協議(6月18日) 地域福祉協議会定例会(10月12日) ①地域課題について聞き取り ②高齢者サロン活動について 高齢者サロン活動の開始(11月～)

【新規の地域福祉協議会の取り組み】

地 区	設立日	取り組み内容
1 中央東 (吾 平)	令和2年4月16日	地域福祉協議会定例会(6月18日) ①地域福祉協議会の概要説明
2 西原2丁目東	令和2年5月8日	地域福祉協議会定例会(5月8日) ①地域福祉協議会の概要説明
3 中央麓 (吾 平)	令和2年5月11日	地域福祉協議会定例会(6月23日) ①地域福祉協議会の概要説明

(イ) 支え合いマップ作成の支援

支え合いマップ作りを通して、住民自身が地域の課題を共有し、解決を図るための取り組みを実施した。

地 域	日 時	場 所	参加者数
上野町	令和2年6月28日(日) 9:00～	上野町公民館	8人
北田大手町	令和2年11月7日(土) 11:30～	リナシティ福祉プラザ	9人
祓川町	令和3年2月28日(日) 13:30～	祓川集落センター	14人

② 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

1つの機関・団体では対応できない複雑・複合的な課題がある世帯に対し、高齢・障がい・児童等の各分野が包括的に支援する体制の構築を推進した。また、支援過程で課題となるものについて協議し解決を図った。

ア 相談支援包括化推進員の配置

相談支援包括化推進員を1名配置し、複合的な課題を持つ世帯に適切な支援機関をコーディネートし、分野横断的な支援を実施した。

イ 複合的課題を抱える相談者の支援

相談件数 55件

(国の分類による内訳)

類型	単身	高齢者のみ	母子・父子	高齢者と独身の子	3世代同居	その他
件数	25	2	9	7	2	10

ウ 相談支援包括化推進会議の開催

社協を含む11機関・団体の実務者で構成する会を月1回開催し、包括的な相談支援体制の構築を図った。

① 開催回数 12回(7月,12月は新型コロナウイルスの影響により書面協議)

② 構成機関・団体(11機関・団体)

- ・ 児童家庭支援センターつながり(社会福祉法人 林愛会)
- ・ 鹿屋市地域包括支援センター(公益社団法人 鹿屋市医師会)
- ・ 鹿屋市民生委員児童委員協議会
- ・ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター
- ・ 鹿屋市福祉政策課
- ・ 鹿屋市健康増進課
- ・ 鹿屋市子育て支援課
- ・ 鹿屋市学校教育課
- ・ 生活困窮者自立相談支援機関(鹿屋市)
- ・ 法テラス鹿屋

- ・ 鹿屋市社会福祉協議会

③ 主な検討事項

複合的課題を抱える世帯（3件）の支援策について継続的に検討した。

④ 担当者会（個別事例会議）の開催

複合的課題を抱える世帯について、多機関の支援者による個別事例会議を開催した。

- ・ 個別事例会議 8回（6世帯）

エ 相談支援包括化ネットワークの構築

世帯全体の支援、相談支援包括化推進会議を通じて高齢・障がい・児童分野の支援機関と連携を図り、実務的なネットワークの構築、多機関で構成される会への参加を通じて関係機関・団体との連携に努めた。

- ・ 青少年問題協議会実務者会（年6回）
- ・ 鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（年4回）
- ・ 肝属・曾於地区自殺対策ネットワーク会議（年1回）
- ・ 権利擁護実務者会（年3回）

(2) ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の中で取り組まれている見守り活動について支援を行った。

① 高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総数	26	5	4	4	39
	既存の見守り隊の例会を通じた支援回数	28	0	4	0	32

② 新規に設立した見守り組織

名 称	設立日	活動内容
花里見守り隊	令和2年4月1日	活動日(毎月1日) 見守り隊員9名が、2人1組で町内の高齢者6名を見守る。
高牧見守り隊	令和2年6月1日	活動日(毎月第3水曜日) グラウンドゴルフの帰りに、参加者が町内の高齢者4名を見守る。
上野見守り隊	令和2年9月17日	活動日(毎月第3木曜日) 見守り隊員10名が3つのグループを編成して町内の高齢者11名を見守る。
亀鶴会見守り隊 (北田大手町)	令和2年12月20日	活動日(毎月第3日曜日) 見守り隊員6名が2つのグループを編成して町内の高齢者10名を見守る。

(3) ふれあい・いきいきサロン事業

生きがいつくりや仲間づくりにつながる「ふれあい・いきいきサロン」が更に活発化するよう活動の支援を行うとともに、研究集会の参加支援を通して継続的な取り組みを促した。

① 研究集会への参加

研修名	日 時	場 所	参加者数
サロン合同研究集会 i n かごつまへの参加支援	令和3年2月16日(火) 13:00~15:40	かごしま県民交流センター	14人

② ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援、既存サロンへの支援の実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン (ヶ所)	新規立上げ	11	0	1	0	12
	廃 止	4	0	0	0	4
	総 数	84	16	27	17	144
子育てサロン	総 数	1	0	1	1	3
高齢者サロンへの参加支援回数		36	38	58	42	174
子育てサロンへの参加支援回数		3	0	0	3	6

③ サロン助成金を通じた支援（高齢者サロン等加入促進事業）

サロングループで新規加入した人数に応じて助成金を交付し、活動の推進を図った。

交付対象サロン数	97グループ（対前年度比：22グループの減）
助成金額合計	1,676,000円（対前年度比：620,000円の減）

④ レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

- ・ 貸出件数 23件（49セット）

サロン用具名	貸出回数
輪投げ	15セット
スカットボール	13セット
ストライクボード	6セット
シャッフルゴルフ 他	15セット

(4) ドライブサロン事業の実施

7法人の経営する8つの施設で実施。自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、週1回法人のマイクロバス等を運行して、生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」と月2回程度、法人のマイクロバス等を運行して、市内外の名所・観光地への遠足と買い物を組み合わせた「生きがいつくり型」の2種類のドライブサロン事業を実施した。

① 生活支援型ドライブサロン

実施回数	99回（対前年度比：164回の減）
登録者数	90人（対前年度比：3人の減）
年間利用者数(延)	774人（対前年度比：1,392人の減）

(各地区の内訳表)

地区名	花岡地区	高隈地区
町内会	有武・小薄・高牧	重田・柏木
協力法人	社会福祉法人 愛光会 桜町学園	社会福祉法人 恵仁会 鹿屋長寿園
開始日	平成27年4月2日	平成27年10月7日
実施日	毎週木曜日 13:00～	毎週水曜日 13:00～
買い物先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	ニシムタ鹿屋店
実施回数	17回	17回
登録者数	24人	18人
年間利用者数	平均11人, 延べ186人	平均11人, 延べ183人

地区名	大始良地区	串良地区
町内会	獅子目	富ヶ尾中央
協力法人	社会福祉法人 永生会 慈恵園	社会福祉法人 以和貴会 以和貴苑
開始日	平成29年8月29日	平成29年3月7日
実施日	毎週火曜日 10:00～	毎週火曜日 10:30～
買い物先	Aコープ大始良店	タイヨー串良店, Tショップやまぐち
実施回数	18回	29回
登録者数	8人	9人
年間利用者数	平均4人, 延べ75人	平均6人, 延べ183人

地区名	花里地区	飯隈・南地区
町内会	花里	飯隈・南
協力法人	社会福祉法人 鹿屋恵友会 花岡の里	社会福祉法人 愛光会 総合サポートセンターラン
開始日	平成29年8月4日	平成29年11月15日
実施日	毎週火曜日 10:00～	毎週木曜日 13:00～
買い物先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	Aコープ大始良店
実施回数	1回	17回
登録者数	14人	17人
年間利用者数	平均6人, 延べ6人	平均8人, 延べ141人

② 生きがいつくり型ドライブサロン

実施回数	1回 (対前年度比: 15回の減)
対象者数	約770人 (対前年度比: 増減なし)
年間利用者数(延)	10人 (対前年度比: 239人の減)

(各地区の内訳表)

地区名	吾平地区	串良地区
法人名	社会福祉法人岳風会 陵北荘	社会福祉法人友心会 ゆらり
開始日	平成30年10月9日	令和元年10月9日
実施日	月2回	月2回
行先	市内外の名所, 観光地, スーパー等	市内外の名所, 観光地, スーパー等
対象者	吾平町内のサロン参加者等	串良町内のサロン参加者等
利用者数	新型コロナの影響で未実施	10人
実施回数		1回

③ 視察受け入れ

ドライブサロン事業について、視察受け入れを行った。

視察日	受入先	視察人数
2月19日(金)	鹿児島県大和村役場	2人

2 生活支援・介護予防体制の充実・強化

(1) 鹿屋市やすらぎの里づくり支援事業

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設に様々な取り組みや活動を展開することにより、生きがいづくりや健康維持、生活の質の向上に努めた。

① 各種講習会等の実施

ア 野菜・花づくり教室

実施回数	2回
日時	【第1回】令和2年6月21日(日) 10:00~11:30 【第2回】令和2年10月18日(日) 10:00~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(車庫)
内容 (講師名)	【第1回】野菜・花のプランター栽培(春作) (まちを明るくする会 世話人 園田 耕二氏) 【第2回】野菜・花のプランター栽培(秋作) やすらぎ無人販売所の建設 (まちを明るくする会 世話人 園田 耕二氏) (大工 棟梁 井ノ上 茂氏)
延受講者数	23人

※ やすらぎ無人販売所実績(11月~3月)

やすらぎサロン利用者及び野菜・花づくり教室の参加者を対象に、生きがいづくり支援を目的として、各家庭菜園の余剰生産物を出荷していただき、土曜日、日曜日、祝日にふれあいセンター駐車場にて無人で販売した。

- ・出荷生産者数・・・延11人
- ・販売品受入数・・・191袋(1袋100円)
- ・販売金額・・・・・・・・17,200円(値引き販売分含む)

イ 子育て講座

実施回数	2回
日時	【第1回】令和2年7月5日(日) 10:00~11:30 【第2回】令和2年9月20日(日) 10:00~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)
内容 (講師)	【第1回】食から考える子育て講座 (NPO法人霧島食育研究会 理事長 千葉 しのぶ氏) 【第2回】親子で作るタイルアート講座 (モザイクタイル作家こびと 瀬戸口 博子氏)
延受講者数	40人

ウ 小中学校学習支援教室

実施回数	3回
日時	【第1回】令和2年7月23日(木) 10:00~15:00 【第2回】令和2年8月4日(火) 10:00~11:30 【第3回】令和2年8月23日(日) 10:00~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室/車庫)
内容 (講師)	【第1回】夏休み植物採集標本作成教室 (鹿児島植物同好会 会長 立久井 昭雄氏) 【第2回】俳句教室 (鹿児島県俳人協会 会長 山之内 赫子氏) 【第3回】竹の貯金箱/竹馬作成教室 (大工 棟梁 井ノ上 茂氏)
延受講者数	41人

エ 高齢者介護予防歯科検診

実施回数	4回
日時	【第1回】令和2年10月1日(木) 13:00~14:00 【第2回】令和2年10月8日(木) 13:00~14:00 【第3回】令和2年10月12日(月) 13:00~14:00 【第4回】令和2年10月19日(月) 13:00~14:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)
内容	【第1~4回】歯科検診及び講話(口腔ケアについて)
講師名	きらら歯科クリニック院長 吉見 博敏氏 歯科衛生士 下原 里美氏
延受診者数	62人

オ ふれあいレクリエーション

実施回数	4回
日時	【第1回】令和2年11月2日(月) 13:30~14:30 【第2回】令和2年11月5日(木) 13:30~14:30 【第3回】令和2年11月9日(月) 13:30~14:30 【第4回】令和2年11月16日(月) 10:30~11:30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(機能訓練室/和室)

内 容	【第1～4回】介護予防体操レクリエーション
講 師 名	鹿屋市レクリエーション協会 松園 タミ子 氏
延受講者数	75人

カ 生活習慣病予防のための食生活講演会

実 施 回 数	1回
実 施 日 時	令和2年11月29日(日) 10:00～11:00
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (和室)
内 容	生活習慣病予防のための食生活について
講 師	鹿児島県民総合保健センター 所長 桶谷 薫 氏
受 講 者 数	27人

キ 高齢男性のための料理教室

実 施 数	4回
実 施 日 時	【第1回】令和2年11月30日(月) 10:00～13:30 【第2回】令和2年12月2日(水) 10:00～13:30 【第3回】令和2年12月4日(金) 10:00～13:30 【第4回】令和2年12月17日(木) 10:00～13:30
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (調理実習室/和室)
内 容	【第1～4回】料理試食及び調理, 栄養指導全般
講 師 名	鹿屋市食生活改善推進員 脇田 るみ子 氏 他2名
延受講者数	19人

② 鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターに自力で参加が難しい高齢者等に対し、サポーター登録を行い既定の講習を受けたサポーターが送迎を行うことで、高齢者等の社会参加と介護予防等を促進した。

登録者数	31人
延利用者数	398人
実施日数	175日
実施回数	287回
付添サポーター数	12人

③ 鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な地域に集い、介護予防又は認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりを目指すため、サロン活動の実施に努めた。

登録者数	83人
延利用者数	2,621人 (1日平均17人)
実施日数	154日

※ 買い物等支援事業

やすらぎサロンに参加された利用者で、輝北総合支所などに用事がある方や買い物がある方をふれあいセンターから送迎し、利用者の利便性を図った。

- ・利用者数・・・304人
- ・運行回数・・・158回
- ・利用状況・・・Aマート(71回), JA輝北支店(50回), ゆうあいクリニック(42回)

3 総合相談事業（心配ごと相談事業）の実施

一般相談では市民の様々な相談を受け、福祉サービス等の情報提供、専門機関へ橋渡しを行い、専門相談では、専門的な助言や情報提供を行い問題解決への適切な支援に努めた。

(1) 相談件数 353 件（内訳は下表のとおり）

相談種別	相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数(前年比)
一般相談	心配ごと・ 悩みごと	月曜日～金曜日 9:00～12:00	心配ごと 相談員	242 日	162 件 (△15 件)
法律相談	権利・相続・ 借地等	第 2 金曜日 13:00～16:00	弁護士	12 日	66 件 (△2 件)
税務・経営相談	相続税・ 贈与税等	第 1 金曜日 9:00～12:00	税理士	12 日	22 件 (2 件)
財産・登記相談	相続・財産・ 登記等	第2・3・4金曜日 9:00～12:00	司法書士	35 日	88 件 (△13 件)
終活相談	遺言・葬儀・ 死後事務等	第 4 木曜日 9:00～12:00	行政書士	12 日	15 件 (4 件)
合 計					353 件(△24 件)

(2) 周知広報 ※社協ホームページに掲載

令和 2 年 4 月	社協だより(第 48 号)
令和 2 年 5 月	福祉プラザ通信(第 148 号)
令和 2 年 8 月	福祉プラザ通信(第 151 号)
令和 2 年 10 月	社協だより(第 50 号)

4 福祉教育やボランティア活動の推進

福祉教育の実践や高齢者、障がい者の方々とふれあう機会の充実など、市民の「福祉の心」の醸成を図るとともに、地域福祉を支えるボランティア活動の充実や福祉イベントを通じて福祉意識の向上を図るなど、ノーマライゼーションの実現に努めた。

(1) ボランティアセンター事業

① 福祉教育の推進

ア 福祉ボランティア作文コンクールの実施

対 象 者	小学生・中学生・高校生
応 募 数	57 点 [内訳] 小学校 16 点, 中学校 16 点, 高等学校 25 点
審 査 結 果	最優秀賞 4 点, 優秀賞 5 点
そ の 他	最優秀賞, 優秀賞受賞作品をホームページ掲載

イ ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

① ボランティア活動推進校の指定

小学校 20 校, 中学校 9 校, 高等学校 3 校の計 32 校

② 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

ボランティア活動認定証 (20 回達成) 発行 1 人 (吾平小)

ウ 福祉体験出前講座の実施

回 数	9 回(小学校 4 回 [3 校], 中学校 5 回 [4 校])
受講者数	582 人 (小学校 278 人, 中学校 304 人)
実 施 先	西原小(2 回), 田崎小, 高隈小, 田崎中, 大始良中(2 回), 吾平中, 輝北中

エ 福祉体験教材等の貸出

高齢者疑似体験セットの貸出	6件：71セット
車イスの貸出	教材6件：63台 窓口貸出80件：81台
ボランティア手帳の配布	6件：348冊
白杖・アイマスクセット貸出	6件：68セット

② ボランティアセンター機能の充実

ア ボランティアセンター運営委員会の開催

日 時	令和2年7月1日(水) 14:00~15:30
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
出席者数	ボランティアセンター運営委員9人
内 容	・令和元年度ボランティアセンター事業実施報告について ・令和2年度ボランティアセンター事業実施計画について

イ ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相 談 件 数	179件 (対前年度比：44件の増)
相 談 内 訳	ボランティア活動希望 8件, ボランティア要請・依頼 4件 福祉教育相談 14件, その他 (保険・収集等) 153件

ウ ボランティア (個人・団体) の登録状況

個人ボランティア	160人 (対前年度比：6人の増)
ボランティア団体	43団体・16,738人 (対前年度比：10人の減)

エ ボランティアの活動支援

① ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	75人 (対前年度比：51人の増)
ボランティア団体の活動保険加入	53団体 1,635人 (対前年度比：13団体 273人の増)

② ボランティア活動保険掛金の助成

期 間	令和2年4月1日から令和2年5月31日までの加入者
助成対象者数	1,130人 (対前年度比：23人の増)
助成金合計額	113,000円 (1,130人×100円)

オ 広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
社協だより	第48号・第49号・第50号・第51号
社協ボラセン通信	第11号

(2) 高齢者元気度アップ・ポイント事業

① 高齢者元気度アップ・ポイント事業の登録

登録者数	2,790人 (内 新規登録者 302人)	対前年度比：248人の増
------	-----------------------	--------------

② ポイント転換交付人数及び転換交付金

ポイント転換交付人数	1,010人	対前年度比：407人の増
ポイント転換交付金額	3,021,000円	対前年度比：1,729,000円の増

③ 高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

(3) 子ども食堂もポイントアップ元気度アップ推進事業

65歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し、ポイントを付与して活動を活性化し、高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

① 子ども食堂もポイントアップ元気度アップ推進事業の周知及び登録

ア 子ども食堂もポイントアップ元気度アップ推進事業の広報・啓発を図るため、関係機関・団体の会議等で同制度の概要説明やチラシの配布を行った。

イ 活動団体（グループ）の登録

登録団体数 250 団体〔内 新規登録団体 27 団体〕（対前年度比：23 団体の増）

ウ 地区別登録状況（活動種別）

地区	校区	高齢者支援				地域活性化			合計
		サロン	運動会	見守り	施設	地域	子育て	子ども食堂	
東部	鹿屋東中	17	11	3	2	3	1	0	37
	串良中	8	4	0	0	0	0	0	12
	上小原中	2	0	1	0	0	0	0	3
	細山田中	3	1	0	0	1	0	0	5
西部	第一鹿屋中	16	15	2	1	0	4	0	38
	花岡中	10	9	2	0	3	0	0	24
南部	田崎中	3	5	3	2	1	0	0	14
	大始良中	15	4	2	0	0	1	0	22
	吾平中	26	8	1	2	3	1	0	41
北部	鹿屋中	15	11	4	0	0	1	0	31
	高隈中	1	1	0	0	1	0	0	3
	輝北中	16	1	0	1	1	1	0	20
合計		132	70	18	8	13	9	0	250

② 子ども食堂もポイントアップ元気度アップ推進事業ポイントの付与

区分		令和2年度	令和元年度	増減
【前期】 4月～9月	ポイント付与グループ数	192グループ	188グループ	4グループ増
	ポイント付与転換交付金	2,457,000円	2,897,000円	440,000円の減
【後期】 10月～3月	ポイント付与グループ数	208グループ	217グループ	9グループの減
	ポイント付与転換交付金	2,595,000円	3,044,000円	449,000円の減
合計	ポイント付与グループ数	225グループ	219グループ	6グループの増
	ポイント付与転換交付金	5,052,000円	5,941,000円	889,000円の減

5 災害救援活動

(1) 災害支援事業（通常）

火災や風水害等による被災者に対して、社協、共同募金、日赤から救援物資や見舞金を支給した。

社協 災害見舞金	・全 焼 3件×20,000円＝60,000円
共募 災害見舞金	・全 焼 3件×15,000円＝45,000円 ・死 亡 1件×18,000円＝18,000円 〈小計 63,000円〉
日赤 災害見舞金 災害救援物資	・全焼（死亡）1件×20,000円＝20,000円 ・被災された3世帯に救援物資（毛布、タオルケット、ブルーシート、緊急セット）を配布した。

(2) 令和2年7月豪雨に伴う災害支援

① ボランティア活動実績

鹿屋市と協働で古江地区にボランティアセンターを設置し、大隅災害復旧ボランティアグループ活動の後方支援を行った。

実施期間	令和2年7月11日（土）から7月26日（日） 延16日間
ボランティア参加数	延854名（個人449人、団体405人）
派遣依頼件数	36件
派遣先	6地区 23カ所
	派遣先内訳
	古江地区 9カ所 天神地区 2カ所 祓川地区 6カ所 上谷地区 3カ所 串良地区 2カ所 新栄地区 1カ所
主な業務内容	土砂の撤去、家財の搬出、住宅の清掃等

② 令和2年7月豪雨による被災者に対して、日本赤十字社から災害見舞品の配布、社協から見舞金を支給した。

災害救援物資の配布 （日本赤十字社）	・138世帯257名に救援物資（毛布、タオルケット、ブルーシート、緊急セット）を配布した。
社協 災害見舞金	・全壊 14件×20,000円＝280,000円 ・大規模半壊 6件×15,000円＝90,000円 ・半壊 25件×15,000円＝375,000円 〈合計 45世帯 745,000円〉

6 障がい者の社会参加と自立支援の促進

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加促進を図った。

(1) 各種奉仕員養成講習会の開催

① 手話奉仕員養成講習会の開催（入門課程）

期 間	令和2年6月12日（金）～令和3年3月19日（金） 19:00～21:00
回 数	30回（60時間）
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室又はボランティア室
受 講 者 数	20人
修 了 者 数	6人（総登録者数176人）

② 点訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和2年6月17日(水)～令和2年12月23日(水) 13:30～15:30
回 数	20回(40時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	2人
修了者数	1人(総登録者数91人)

③ 音声訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和2年6月18日(木)～令和2年12月17日(木) 13:30～15:30
回 数	10回(20時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	4人
修了者数	3人(総登録者数80人)

④ 声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がい者のために、点訳、音声訳の方法により、市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

広 報 紙 名	種 類	発行回数	利用人数
広 報 か の や	音声訳	12回	12人
広報かのやお知らせ版	音声訳	12回	12人
社 協 だ よ り	音声訳	4回	12人
	点訳	4回	3人

(2) コミュニケーション支援事業(手話奉仕員等派遣事業)

聴覚障がい者の方々が、円滑な意思疎通を図れるよう手話奉仕員等の派遣を行った。

① 手話奉仕員の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	23回・31人・45時間7分
主 な 派 遣 用 務	市主催講演会, 病院受診等

② 要約筆記奉仕員の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	18回・24人・50時間28分
主 な 派 遣 用 務	講演会, 学校行事及びP T Aの会合等

(3) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について、これを必要とする方に無料で斡旋した。

区 分	機器提供 件 数	機器譲渡希望件数 (うち提供済分)
車イス	0台	2台(2台)

7 子育て支援事業の推進

子育て中の保護者等が地域で安心して子育てができる仕組みづくりや社会資源づくりに努めた。

(1) 鹿屋市ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児又は家事の援助を受けたい人(利用会員)と育児等の援助を行いたい人(サポート会員)を募集・登録し、相互援助活動の調整業務を行い、子育て支援に努めた。

① 会員登録者数

・総会員数 686人(対前年度比:2名の増)

区 分	会員数 (内 新規登録者数)
利用会員	346 人 (53 人)
サポート会員	296 人 (10 人)
両方会員	44 人 (3 人)
合 計	686 人 (66 人)

② 会員募集講習会の開催と出席者数

開 催 日	利用会員	サポート会員	両方会員	合計
令和2年10月27日(火)	0 人	4 人	0 人	4 人
令和2年12月24日(木)	1 人	1 人	0 人	2 人
令和3年2月28日(日)	2 人	5 人	3 人	10 人
随 時	46 人	0 人	0 人	46 人
出 前	4 人	0 人	0 人	4 人
合 計	53 人	10 人	3 人	66 人

③ 全体交流会の開催

日 時	令和3年1月20日(水) 10:00~11:40
場 所	リナシティかのや3階 フィットネスホール
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション 人形劇 “子どもとふれあうための手遊びと絵本の魅力を一緒に楽しみましょう” 講師：学校図書司書「お話グループぶっくる」 ・体験発表 2 例 (利用会員と両方会員が 1 名ずつ発表) ・意見交換会 (紙面に意見を記入)
参加者数	会員 12 人, 子ども 4 人

④ フォローアップ講習会の開催

日 時	令和3年3月2日(火) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の緊急救命及び事故防止について (実技を含む) 講師：日本赤十字社鹿児島県支部指導員 ・会員の心得と事故発生状況を踏まえた提供会員の留意事項 講師：鹿屋市ファミリー・サポート・センター職員
参加者数	23 人

⑤ 活動回数

・総活動回数 992 回 (対前年度比：393 回の減)

内 容	回 数
保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	100 回
保育施設までの送迎	155 回
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0 回
学校の放課後の子どもの預かり	0 回
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	0 回
買い物等外出時の子どもの預かり	19 回
家事援助	22 回
習い事等の送迎	543 回
そ の 他	153 回
合 計	992 回

⑥ その他

ア 援助活動に関する事前打合せ件数 43 件

イ 会報の発行

鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより 2 回発行（会員、保育園等に配布）

ウ 広報啓発

- ・鹿屋市の広報紙・・・2 回 ・社協だより・・・4 回 ・福祉プラザ通信・・・5 回
- ・社協ホームページ・・・5 回 ・福祉情報配信・・・2 回

※ その他の取り組み

市内の学習センター、保育施設、協力店舗、社協特別会員及び団体会員などにポスターの掲示を依頼した。

(2) つどいの広場“りな”事業

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互の親睦交流と保育士による育児相談を行うことなどを目的に、つどいの広場“りな”を開設して、その利用の推進を図った。

① アドバイザーの配置

保育士の資格を有するアドバイザーを 3 名配置し事業を実施した。

② 利用状況

開設日数	327 日
利用者数	3,936 人〔内 講習会等参加者 221 人含む〕（対前年度比：2,936 人の減）
1日平均の利用者数	12 人

③ 講習会 開催回数：8 回（延参加者数 123 人）

④ イベント 開催回数：6 回（延参加者数 98 人）

⑤ 相談件数 67 件

【主な相談内容】

- ・発育・発達について（歯の生え方、言葉が遅い、寝返りが出来ない、ハイハイが出来ない、歩かない、歩き方）
- ・育児方法（夜泣き、トイレトレーニング、歯磨き、授乳時間、姉弟の育て方、イヤイヤ期の対処）
- ・その他（幼稚園入園、保育園探し、仕事復帰、転入者の乳児医療、転入者の公園探し、子の体調、外出時の食事、出産の不安、ご飯を食べない）

8 広報啓発活動等の実施

(1) 福祉情報配信サービス事業

パソコンや携帯電話のメール機能を利用し、福祉イベントやボランティア情報、休日の当番医、イベント情報等の配信や急を要する不審者等の情報など、くらしに役立つ福祉情報の配信に努めた。

登録者数	996 人（内 新規登録者数 46 人）
配信件数	83 件

9 低所得世帯等の福祉の推進

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため次の事業に取り組んだ。

(1) 県生活福祉資金貸付事業

① 借入相談件数 1,340 件

② 貸付件数及び金額（令和3年3月31日現在）

ア 通常貸付

資金種類	件数	金額
福祉費（住居移転等経費）	1件	272,000円
福祉費（技能習得経費・支度経費）	1件	1,276,000円
教育支援資金	1件	1,310,000円
合計	3件	2,858,000円

イ 新型コロナウイルス特例貸付（令和2年3月25日～）

資金種類	進達件数	進達金額
緊急小口資金	669件	126,470,000円
総合支援資金	385件	198,750,000円
総合支援資金延長	154件	73,200,000円
再貸付	30件	13,950,000円
合計	1,238件	412,370,000円

ウ 7月豪雨災害特例貸付（令和2年8月17日～）

資金種類	件数	金額
緊急小口資金	1件	200,000円

③ 償還状況（令和3年3月31日現在）

区分	元金	利子	合計
前年度末貸付残額	40,204,728円	644,512円	40,849,240円
当年度貸付額	359,278,000円	0円	359,278,000円
当年度償還額	6,075,530円	39,669円	6,115,199円
当年度末貸付残額	393,407,198円	604,843円	394,012,041円

(2) 鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業

① 貸付件数及び金額 0件, 0円（前年度貸付件数1件, 30,000円）

② 償還状況

区分	元金	利子	合計
前年度末貸付残額	768,800円	48,710円	817,510円
当年度貸付額	0円	0円	0円
当年度償還額	118,300円	2,800円	121,100円
当年度末貸付残額	650,500円	45,910円	696,410円

(3) 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し、食料に困っている世帯に対し、支援を行った。

① 生活困窮世帯への当会備蓄食料品の提供

・支援件数：47件（対前年度比：1件の増）

(4) かごしまおもいやりネットワーク事業

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」として、福祉課題や生活課題を抱える地域住民等を対象に相談支援や経済的支援を実施した。

・支援件数：51件 23世帯（対前年度比：20件 4世帯の増）

・支援金額：932,697円（対前年度比：540,062円の増）

・支援内容：食料費、燃料費、公共料金、家賃等

10 各種イベントの開催

(1) 鹿屋市ふれあい健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講演会等のイベントは実施せず、市民が福祉や健康に興味、関心を持ってもらうためのパネル展示を実施した。

- ① 期 間 令和3年2月12日(金)～2月19日(金)8日間
- ② 場 所 鹿屋市役所1階(壁画前)、リナシティかのや2階福祉プラザ

11 共同募金配分金事業

鹿児島県共同募金会から一般募金及び歳末たすけあい募金の配分があり、様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

- (1) 一般募金配分金【配分合計額】6,472,235円(対前年度比:416,650円の減)

配 分 内 容	配 分 金
・町内会福祉推進助成金	1,603,000円
・福祉活動団体助成金	1,450,000円
・ふれあい・いきいきサロン等助成金	120,000円
・高齢者祝品等事業	298,920円
・公募助成事業(町内会, ボランティア団体等)	1,442,000円
・児童生徒への学習支援事業	512,000円
・生活困窮者支援事業	96,000円
・ドライブサロン事業	84,500円
・広報啓発事業(社協だより等)	314,000円
・民生委員活動啓発事業	200,000円
・事業事務経費	351,815円

- (2) 歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】3,845,503円(対前年度比:414,650円の増)

配 分 内 容	配 分 金
・90歳以上の高齢者世帯(歳末見舞品事業)	1,461,150円
・地域歳末たすけあい助成事業(公募事業)	942,000円
・児童福祉施設等への助成金	150,000円
・生活困窮者支援	261,967円
・広報啓発事業(社協だより)	871,360円
・事業事務経費	159,026円

12 共同募金運動への協力

鹿屋市共同募金委員会が実施する共同募金運動に協力した。

- (1) 広報啓発活動

- ① 赤い羽根, ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報
- ② 社協だよりに掲載
【第48号(令和2年4月28日発行)】【第50号(令和2年10月28日発行)】【第51号(令和3年1月13日発行)】
- ③ 懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)
- ④ 横断幕の設置(リナシティかのや3階北田交差点側に設置)
- ⑤ 赤い羽根共同募金寄付型自動販売機(清涼飲料水)の設置 2台
【社協本所(福祉プラザ内)及び社協本所分室(市社会福祉会館内)】実績 78,083円

(2) 募金活動

① 一般募金

ア 運動期間 (10月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和2年10月1日(木)
- ・場 所 市内8ヶ所のスーパー、量販店など
- ・募金ボランティア数 67人
- ・募金実績 82,785円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 9,721,000円

(内訳)

募金種別	募金額
・戸別募金	6,951,132円
・街頭募金	82,785円
・法人募金	1,216,000円
・学校募金	474,243円
・職域募金	119,967円
・イベント募金	5,200円
・個人募金	467,085円
・その他の募金	404,588円
合 計	9,721,000円

② 歳末たすけあい募金

ア 運動期間 (12月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和2年12月1日(火)
- ・場 所 市内8ヶ所のスーパー、量販店など
- ・募金ボランティア数 66人
- ・募金実績 94,387円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 3,167,225円

(内訳)

募金種別	募金額
・戸別募金	2,501,700円
・街頭募金	94,387円
・法人募金	3,000円
・職域募金	197,741円
・個人募金	244,350円
・その他の募金	126,047円
合 計	3,167,225円

③ 各種別募金の内容

- ・戸 別 募 金 【町内会の各世帯に募金協力依頼】
- ・職 域 募 金 【市内の官公署等の職員に募金協力依頼】
- ・街 頭 募 金 【市内の8店舗に協力依頼し、店舗の利用客等に募金協力依頼】
- ・法 人 募 金 【市内の企業・病院等に募金協力依頼】

- ・学 校 募 金 【市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼】
- ・個 人 募 金 【一般の個人に募金協力依頼】
- ・イベント募金【各種イベントでの募金活動】
- ・その他の募金【企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱，共同募金自動販売機の益金等】

1 3 日本赤十字社会員増強運動への協力

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

(1) 広報活動

① 5月は日本赤十字社会員増強運動月間として広報啓発に努めた。

- ・広報かのや(5月通常版)を活用しての広報
- ・ポスター，パンフレット，チラシ等募金資材を使った広報
- ・懸垂幕の設置（市役所庁舎に設置）
- ・横断幕の設置（リナシティかのや3階北田交差点側に設置）

(2) 会員募集

① 募集期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日
（5月は会員増強運動月間と定めている。）

② 納入実績額 9,512,647円

(内訳)

区 分	会費額
個人・法人等	8,810,647円
ダイレクトメール	702,000円
合 計	9,512,647円

在宅福祉サービス課所管

1 介護保険事業の実施

(1) 居宅介護支援事業（本所分室・輝北支所）

高齢者等が居宅において、適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され、自立した質の高い日常生活が送れるように、介護相談及び介護計画の作成等の支援を行った。

- ① 介護支援専門員数 8人（嘱託 8人）
- ② ケアプラン作成実人数 288人（内：介護予防ケアプラン作成実人数 39人）
- ③ ケアプラン年間作成件数 2,500件（内：介護予防ケアプラン作成件数 301件）
- ④ ケアプラン介護度別作成件数

区 分		年間	月平均	割 合
要支援認定者等		301件	25.1件	12.0%
小 計		301件	25.1件	12.0%
要介護1		590件	49.2件	23.6%
要介護2		606件	50.5件	24.2%
要介護3		399件	33.2件	16.0%
要介護4		385件	32.1件	15.4%
要介護5		219件	18.2件	8.8%
小 計		2,199件	183.2件	88.0%
合 計		2,500件	208.3件	100.0%
予防 給付	新 規	11件	0.9件	
	継 続	28件	2.3件	
	計	39件	3.2件	
介護 給付	新 規	63件	5.3件	
	継 続	186件	15.5件	
	計	249件	20.8件	
合計	新 規	74件	6.2件	
	継 続	214件	17.8件	
	合 計	288件	24.0件	
住宅改修作成		20件	1.7件	

(2) 訪問介護事業（本所分室）

訪問介護員が利用者の居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助、日常生活に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助及び支援を行った。

- ① 訪問介護従事者数 22人（嘱託 4人，登録 18人）
- ② 訪問介護利用者実人数 108人
- ③ 年間訪問介護回数 8,696回

④ サービス内容

区 分		年間	月平均
サービス内容	身体介護中心	971 回	80.9 回
	身体介護・生活援助	1,900 回	158.3 回
	生活援助中心	5,825 回	485.4 回
	合 計	8,696 回	724.6 回

⑤ 介護度別利用者数及び訪問回数

区 分	年間		月平均		割 合	
	利用者数	回 数	利用者数	回 数	利用者数	回 数
要支援 認定者等	525 人	2,706 回	43.8 人	225.5 回	47.2%	31.1%
小 計	525 人	2,706 回	43.8 人	225.5 回	47.2%	31.1%
要介護 1	159 人	1,112 回	13.2 人	92.7 回	14.3%	12.8%
要介護 2	320 人	3,751 回	26.7 人	312.6 回	28.7%	43.1%
要介護 3	80 人	849 回	6.7 人	70.8 回	7.2%	9.8%
要介護 4	25 人	244 回	2.1 人	20.3 回	2.2%	2.8%
要介護 5	4 人	34 回	0.3 人	2.8 回	0.4%	0.4%
小 計	588 人	5,990 回	49.0 人	499.2 回	52.8%	68.9%
合 計	1,113 人	8,696 回	92.8 人	724.7 回	100.0%	100.0%

(3) 訪問入浴介護事業（本所分室）

訪問入浴車でその居宅を訪問して浴槽を提供し、看護職員及び介護職員が要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の介助を行った。

- ① 訪問入浴介護従事者数 18 人 } 看護職員（嘱託 2 人，登録 8 人）
介護職員（嘱託 2 人，登録 5 人，派遣 1 人）
- ② 訪問入浴介護利用者実人数 70 人
- ③ 年間訪問入浴介護回数 1,632 回
- ④ 介護度別利用者数及び訪問回数

区 分	実人数	1 人あたり 月平均回数	年間
要介護 1	1 人	0.40 回	5 回
要介護 2	6 人	0.36 回	26 回
要介護 3	8 人	0.44 回	42 回
要介護 4	17 人	2.27 回	464 回
要介護 5	38 人	2.40 回	1,095 回
合 計	70 人	1.94 回	1,632 回

2 障害者福祉サービス事業の実施

利用者が居宅において日常生活を営むことができるよう、訪問介護員が入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理、洗濯及び掃除等の身体家事援助、生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援、その他の生活全般にわたる支援を行った。

(1) 障害者居宅介護事業

- ① 訪問介護従事者数 22人 (嘱託 4人, 登録 18人)
- ② 訪問介護利用者実人数 38人 (身体 22人, 精神 12人, 知的 4人)
- ③ 年間訪問介護回数 3,299回
- ④ 訪問回数

区 分		年間	月平均
サービス内容	身体介護	461回	38.4回
	家事援助	2,821回	235.1回
	通院介護	17回	1.4回
	合 計	3,299回	274.9回

(2) 同行援護事業

- ① 同行援護従事者数 12人 (嘱託 3人, 登録 9人)
- ② 同行援護利用者実人数 10人
- ③ 年間同行援護回数 841回
- ④ 年間利用者及び同行援護回数

年間		月平均	
利用者数	回数	利用者数	回数
117人	841回	9.8人	70.1回

(3) 障害者移動支援事業 (ガイドヘルプ)

- ① 移動支援従事者数 13人 (嘱託 3人, 登録 10人)
- ② 移動支援利用者実人数 2人 (身体介護「有」1人, 「無」1人)
- ③ 年間移動支援回数 13回
- ④ 年間利用者数及び移動支援回数

区 分	年間		月平均	
	利用者数	回数	利用者数	回数
身体介護を伴う場合	3人	3回	0.3人	0.3回
身体介護を伴わない場合	5人	10回	0.4人	0.8回
合 計	8人	13回	0.7人	1.1回

(4) 身体障害者訪問入浴サービス事業

- ① 訪問入浴介護従事者数 18人 [看護職員 (嘱託 2人, 登録 8人)
介護職員 (嘱託 2人, 登録 5人, 派遣 1人)]
- ② 訪問入浴介護利用者実人数 10人
- ③ 年間訪問入浴介護回数 730回
- ④ 年間利用者及び訪問回数

実人数	1人あたり月平均回数	年間
10人	6.1回	730回

3 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等の意思能力や生活状況に応じ、成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して、権利擁護支援の推進を図った。

(1) 成年後見事業の実施

家庭裁判所からの選任により、判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する法人後見事業を行った。

① 年間実績

・前年度末受任人数	16人
・新規受任人数	1人〔保佐1人〕
・後見終了人数	5人〔後見5人〕
・受任人数(3月末現在)	12人〔後見10人・保佐2人〕(対前年度比:4人の減)
・延受任人数	17人
・相談件数	20件〔制度説明, 後見事務等〕
・年間支援人数	702人〔入退院手続き, 死後事務等〕

② 市民後見人養成講座の開催

地域で安心した生活を続けたいという地域福祉推進の観点から、市民を対象に、養成講座の開催を募集したところ、新型コロナウイルスの影響により応募者は僅かだったため、講座開催を断念した。

※市民後見人とは、一般市民による成年後見人です。認知症や知的障害などで判断能力が不十分になった人に、親族や弁護士・司法書士等がいない場合に、同じ地域に住む市民が、家庭裁判所から選任され、本人に代わって財産の管理や介護契約などの法律行為を行います。

ア 市民後見人養成講座(事前説明会)募集

・募集期間

〔1回目〕令和2年8月13日(木)～9月3日(木)

〔2回目〕令和2年9月4日(金)～9月24日(木)

③ 鹿屋市高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会への参加

・日時 令和2年8月19日(水) 15:00～16:30

・場所 リナシティかのや2階 情報研修室

・参加者 2人

④ 権利擁護実務者会議への参加

《第1回》

・日時 令和2年10月30日(金) 10:00～11:00

・場所 鹿屋市社会福祉会館 1階 大会議室

・参加者 1人

《第2回》

・日時 令和3年3月18日(木) 13:30～14:30

・場所 鹿屋市産業支援センター 2階 会議室

・参加者 1人

(2) 福祉サービス利用支援事業の実施

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が困難な方に対して、「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」を提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援を行った。

① 年間実績

・相談援助延件数	380件
・新規契約人数	17人
・解約・終了人数	13人
・現在の実利用人数	96人〔令和3年3月31日現在〕（対前年度比：4件の増）
・年間支援人数	109人

② 令和2年度福祉サービス利用支援事業実地業務調査

- ・日時 令和2年10月27日(火) 10:30～15:00
- ・場所 市社会福祉会館内権利擁護推進センター内
- ・調査実施者 鹿児島県社会福祉協議会生活支援部福祉サービス利用支援室事務局 3人
- ・出席者 4人

③ 第1回福祉サービス利用支援事業専門員会議

- ・日時 令和2年8月7日(金) 10:30～15:00
- ・場所 鹿児島県社会福祉センター別館
- ・参加者 1人

④ 福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会

- ・日時 令和2年12月8日(火) 13:00～16:00
- ・場所 リナシティかのや情報研修室
- ・参加者 2人

⑤ 福祉サービス利用支援事業第2回専門員会議及び専門員セミナー(オンライン研修)

- ・日時 令和3年3月11日(木) 10:00～
- ・場所 市社会福祉会館大会議室
- ・参加者 2人

4【充実】肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

令和元年度から事業の全面受託に伴い、鹿屋市や社会福祉法人からの出向等により相談員等を配置して、障がい者、障がい児及びその保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行った。

(1) 業務従事者数(8名)

- ① センター長 1人(出向元：鹿屋市)
- ② 相談員 5人(出向元：社会福祉法人 愛光会・岳風会・恵仁会・天上会・松風会)
- ③ 相談員 1人(社協直接雇用：嘱託)
- ④ 事務補助員 1人(社協直接雇用：パート)

(2) 業務内容

- ① 障がい者相談支援事業(障がい者等・家族等を主な対象)
- ② 相談支援事業(事業者を主な対象)
- ③ 地域生活支援拠点等の整備に向けた各機能の仕組み作り

- ④ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター運営協議会の運営
 - ⑤ 肝属地区障害者自立支援協議会の運営の補助
 - ⑥ 肝属地区障がい者虐待防止センター
- (3) 実施区域

肝属地区 2市4町（鹿屋市・垂水市・肝付町・東串良町・錦江町・南大隅町）
また、巡回相談を各市町で毎月2回程度実施

(4) 開設日及び開設時間

開設日	開設時間	休日
月～金	8:30～17:00	日曜日, 祝日
土	8:30～17:00 (原則 電話相談のみ)	年末年始 (12/29～1/3)
※上記開設以外については、センター代表番号への電話を携帯電話に自動転送し、24時間体制を確保する。ただし、原則として緊急を要する場合のみ対応とする。(令和3年1月より開始)		

(5) 相談記録システムの更新及び相談室の整備

① 障害者相談記録システムの更新

旧システムが導入後11年経過しており、今後のバージョンアップに対応できないため、新システムを導入した。(旧データは新システムに移行)

② 相談室の整備

旧相談室が、安全性・防音性・プラバシーの保護・合理的配慮において支障があったため、新たに相談室を整備した。

③ ピアサポーター活用事業の実施

事業目的：啓発活動，相談支援，ネットワーク形成

[事業実績]

- ・体験発表：開催回数5回

(民生委員児童委員定例会，自立支援協議会定例会等)

コロナ感染防止対策により中止：2回

- ・個別支援：対象者2名（計5回開催。うちリモート開催2回）

コロナ感染防止対策により中止：3回

④ 地域生活支援拠点等の整備に向けた各機能の仕組み作り

相談機能（ワンストップの相談窓口，常時の連絡体制の確保）として肝属地区障がい者基幹相談支援センターにて令和3年1月から24時間体制の実施

(6) 令和2年度相談実績

区分	分類	件数	対前年度比	月平均	内訳(%)
相談実人数 【障害別】	身体障害	71	0	5.9	12.6
	重症心身障害	10	5	0.8	1.8
	知的障害	87	△1	7.3	15.4
	精神障害	169	7	14.1	30.0
	発達障害	28	△1	2.3	5.0
	高次脳機能障害	1	1	0.1	0.2
	その他	198	67	16.5	35.1
	合計	564	78	47.0	100

相談延件数 【方法別】	訪 問	1,067	234	88.9	18.9
	来 所	280	108	23.3	5.0
	同 行	224	94	18.7	4.0
	電 話	1,624	365	135.3	28.7
	メール	331	124	27.6	5.9
	個別支援会議	106	23	8.8	1.9
	関係機関	1,983	567	165.3	35.1
	その他	39	△3	3.3	0.7
	合 計	5,654	1,512	471.2	100
相談延件数 【内容別】	福祉サービス利用	1,910	613	159.2	23.7
	障害者症状の理解	41	△12	3.4	0.5
	健康・医療	1,118	522	93.2	13.9
	不安の解消・情緒安定	739	313	61.6	9.2
	保育・教育	350	125	29.2	4.3
	家族関係・人間関係	423	122	35.3	5.3
	家計・経済	930	477	77.5	11.6
	生活技術	1,518	424	126.5	18.9
	就労	188	100	15.7	2.3
	社会参加・余暇支援	65	37	5.4	0.8
	権利擁護	77	35	6.4	1.0
	その他	687	△64	57.3	8.5
	合 計	8,046	2,692	670.5	100

5 鹿屋市社会福祉会館の管理・運営

社会福祉会館については、民間福祉団体等の活動の拠点として適切かつ効率的な管理・運営に努めたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響等で利用者が半減した。

- (1) 利用者数 1,962人（対前年度比：1,866人の減）
- (2) 利用者数内訳

区 分	年間利用者数	区 分	年間利用者数
社協関係主催	1,587人	福祉協力団体主催	357人
福祉団体主催	0人	その他(一般)主催	0人
行政関係主催	18人	合 計	1,962人